

R08b 銀河系外縁部 木曾 U バンドサーベイ

鈴木 豊¹、中西 裕之¹、三戸 洋之²、中田 好一³、小麦 真也⁴、Joss Bland-Hawthorn⁵、江草 芙実⁶、長谷川 隆⁷、小野寺 幸子⁸、青木 勉²、祖父江 義明³、神鳥 亮⁸、小林 尚人³、宮田 隆志³ (1:鹿児島大学 2:木曾観測所 3:東京大学 4:ISAS/JAXA 5:Sydney University 6:California Institute of Technology 7:ぐんま天文台 8:NAOJ)

本講演では、Kiso Outer Galaxy Survey(KOGS プロジェクト)の一環として進めている、銀河系外縁部の U バンドサーベイの結果について報告する。

我々はこれまで銀河系外縁部の星ディスクの構造を探るために、木曾観測所シュミット望遠鏡と 2kCCD を用いて、銀経 $l = 161^\circ - 213^\circ$ 、銀緯 $b = 0^\circ$ という広範囲の UBVI バンドサーベイ観測を進めてきた。

しかし、U,I バンドの星のカタログは少ないため、U,I バンドでの等級較正が十分ではなかった。そこで、我々は $(l, b) = (33^\circ, 0^\circ), (213^\circ, 0^\circ)$ にある Landolt. (1992) の標準星が存在する視野を繋ぐように銀河面のモザイク観測を行ってきた。視野間隔を 10 分角ずつとるモザイク観測により、高い精度での等級較正を目指している。また、観測領域内には Mermilliod et al. (1997) でまとめられた U バンドのカタログと重なる領域があり、等級較正の確認を行った。U バンドについての観測は終了し、今期より I バンドでの観測を開始する。

銀河面の U,I バンドの星のカタログは未だに少ないため、このカタログは銀河系研究の基礎データとして非常に有用である。これらのデータはデータベースとしてまとめて順次 web 上で公開していく予定である。本講演では U バンドのカタログのリリースに先駆けて紹介する。